全国介護事業者連盟メールマガジン

vol.112

※このメールは全国介護事業者連盟会員の方へ配信しております。

- 全国介護事業者連盟ホームページ
  http://kaiziren.or.jp/

- 介護チャンネル　全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願い致します。
  https://www.youtube.com/channel/UCD50A6NnDt5Kbj1e3YJMb5Q?view_as=subscriber

- 全国介護事業者連盟公式 Facebook ページ
  https://www.facebook.com/kaiziren

- 全国介護事業者連盟公式 twitter
  https://twitter.com/kaiziren/status/1308658754259308546?s=21

- 全国介護事業者連盟公式 instagram
  https://www.instagram.com/kaiziren/

- 本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。
  Mail:info@kaiziren.or.jp

_/_/_/_/_/_/_/ ★目次★ ☆彡 _/_

- 全国介護事業者連盟からのお知らせ

- 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

- 介護・障害福祉ニュース

□■

■　全国介護事業者連盟からのお知らせ

障害福祉事業部会　福岡県支部長挨拶

全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会が設立された約一年後の令和 5 年 2 月に、障害福祉事業部会 福岡県支部設立が承認されたことは、福岡県の障害福祉事業者及び職員、そして何より利用者さんにとって心強く

且つ喜ばしいことであり、関係各位の皆様へ感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

高度経済成長を背景に労働人口の増加、税収の増、世界に誇る社会保障制度の維持を続けた日本も、今や人口減、労働人口減、税収減という時代の大転換期を迎える中、障害福祉事業も改めて本来の在り方を問われる時期にきており、我々の存在意義をさらに世の中に認めてもらう必要性を感じています。

カムラックグループは、一人でも多くの経済的活躍人材を社会に輩出すべく、利用者さんが同じ事業所に留まらない段階的支援のワンストップサービスに取り組んでおりますが、小さなエリアでしか結果を出せていません。
やはり、1事業所の力だけでは微力であり、多くの事業所の力を集めた組織としての活動が必須であると考えます。
そして、我々の事業のことは我々で考える。それが、障害福祉サービスを受ける方々の満足度向上や社会で活躍する人々を送り出すことに繋がっていくと信じて、福岡県支部の活動を始めていきたいと思っております。

まずは、福岡県内の事業者様の想いを集めるべく会員企業を増やす活動を行い、持続可能な障害福祉制度の実現に向け、現場や利用者さんなどの多角的な視点の制度、政策提言、情報発信に、行政や議員、首長の方々を巻き込みながら三方良しの関係を構築して取り組む所存でございます。
また会員規模を増やしていく中で、幾つかの委員会も立ち上げていきたいと考えております。

9月8日には設立総会も控えております。
是非とも福岡に足を運んでいただき、介事連の拡大と活動に弾みをつけていきます。

皆様には、引き続きご協力の程宜しくお願い申し上げます。

【プロフィール】
賀村 研（かむら けん）
株式会社カムラック（カムラックグループ）、代表取締役兼グループ代表。
2013年10月より福岡市を中心に、全国でも珍しいIT分野を活用した障害者総合就労支援事業を展開。
企業パートナーとともに全国で障がい者就労の支援を行っている。
「福岡ひびき信用金庫経営者賞」受賞、「第12回日本でいちばん大切にしたい会社大賞」で審査委員会特別賞を受賞。

◆「青森県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023年6月24日）
http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/aomori20230624/

◆「島根県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023年7月1日）
http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/sihmane0701/

◆「静岡県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023年7月10日）
http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/shizuoka20230710/

◆「岐阜県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023 年 7 月 14 日）
http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/gifu0714/

◆「秋田県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2023 年 7 月 22 日）
http://kaiziren.or.jp/event/request/2023/akita0722/

◆2024 年度介護報酬改定における通所介護の論点整理について～無料オンラインセミナー～
主 催：株式会社ＥＭシステムズ
日 時：6 月 29 日（木）16：00～17：00
講 師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行
お申し込みはこちらからお願いいたします
https://marketing.emsystems.co.jp/public/application/add/1220

◆NPO 地域共生を支える医療・介護・市民 全国ネットワーク IN NAGOYA2023　第 2 回全国の集い（ご案内）
http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/iryoukaigosimin-_20230917-18.pdf

---

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル　介護チャンネル
調査報告書から読み解く 24 年介護報酬改定デイサービス 個別機能訓練加算が 1 つに？
https://www.youtube.com/watch?v=pmcYGZgklZI

調査報告書から読み解く『訪問+通所』新サービスの行方
https://www.youtube.com/watch?v=oVeJvR73C0s

【特別対談】専門家からの助言 介護・障害福祉事業における働き方改革の勧め！
https://www.youtube.com/watch?v=Z9GjJVSCB1I

24 年介護・障害福祉 プラス or マイナス改定 攻防戦が山場を迎える！
https://www.youtube.com/watch?v=qslujt1rhQo

給付費分科会スタート 24 年介護報酬改定 4 つのテーマを解説
https://www.youtube.com/watch?v=gQPyNyPaR1M

【全国介護事業者連盟動向】

５月２９日	北海道支部・東北支部・青森県支部・岩手県支部・宮城県支部・秋田県支部、障害福祉事業部会 北海道支部・宮城県支部幹事会の開催（北海道　宮城県　オンライン）
５月３１日	第 33 回常任理事会の開催（東京都　オンライン）
５月３１日	厚生労働省 『第 2 回介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会』にヒアリング団体として理事長が出席（東京都） https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001102052.pdf
５月３１日	障害福祉事業部会 京都府支部幹事会の開催（京都府　オンライン）
６月　３日	岩手県支部設立総会・記念講演の開催
６月　６日	障害福祉事業部会 正・副会長会議の開催（オンライン）

６月　８日　九州支部幹事会の開催（福岡県　オンライン）
６月　９日　監事監査の実施（東京都）
６月　９日　島根県支部幹事会の開催（島根県　オンライン）

■

■　　　厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

令和５年第８回経済財政諮問会議
https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2023/0607/agenda.html

歴史的転機における財政
https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/report/zaiseia20230529/zaiseia20230529.html

令和５年第７回経済財政諮問会議
https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2023/0526/agenda.html

第16回規制改革推進会議　第58回国家戦略特区諮問会議　合同会議
https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/committee/230601/agenda.html

令和４年(2022)人口動態統計月報年計（概数）の概況
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=4wcMROszWwKUexZxY

介護給付費等実態統計月報（令和５年２月審査分）
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=m39wP8KayZTGkcMJY

「人口動態統計速報」令和５年３月分
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zchHFFth1Uy7ilBY

□■

■　　　介護・障害福祉ニュース

政府、骨太方針案を提示　次の介護報酬改定は玉虫色に　年末に綱引き激化へ
https://www.joint-kaigo.com/articles/10223/

介護・医療 歳出改革へ　報酬引き上げは「慎重に議論」　財政審
https://www.koureisha-jutaku.com/20230607-_02_01/

【2023年デイサービス５選 受賞事業者に聞く】認知症予防できるリハデイ　現場の声もとに「脳ぽち」自社開発　エントレリハ
https://www.koureisha-jutaku.com/20230524_07_01/

財政制度等審議会 想定内の提言
https://www.koureisha-jutaku.com/20230524_04_01/

加藤厚労相「診療・介護報酬の大幅増が必要」
https://www.care-news.jp/news/KYDiD

改正介護保険法が成立　国は、制度は守っても個々の事業者は守らない
https://www.joint-kaigo.com/articles/10128/

自民・介護福祉議連、介護報酬の引き上げを財務相に要請　人材流出などで「これまでにない危機」
https://www.joint-kaigo.com/articles/10108/

「人材には限りがある」規制改革会議、介護事業所の管理者の兼務ルール緩和を提案
https://www.joint-kaigo.com/articles/9998/

介護分野の人材紹介会社に「厳しい対応を」財政審提言　手数料水準の設定など要請
https://www.joint-kaigo.com/articles/9939/

次の介護報酬改定をめぐる攻防が激化　今後を左右する「骨太の方針」の議論が山場に
https://www.joint-kaigo.com/articles/9890/

訪問＋通所の新サービス、多くの介護事業所が参入を検討する構え　課題では人材確保が最多
https://www.joint-kaigo.com/articles/9856/

診療報酬・介護報酬の引き上げは「慎重に議論を」財政審提言　給付費抑制の必要性を強調
https://www.joint-kaigo.com/articles/9831/

新たな人口推計が描く未来　介護保険制度は危機に瀕し、このままでは維持できない
https://www.joint-kaigo.com/articles/9814/

加藤厚労相「診療報酬・介護報酬の大幅な増額が必要」諮問会議で言明
https://www.joint-kaigo.com/articles/9802/

□■

■　賛助会員広告【株式会社ＯＫＡＮ】

≪介護業界で年間離職率を 1%にした驚きの方法とは？｜事例あり｜株式会社ＯＫＡＮ≫

突然ですが皆様は人手不足にお悩みではないでしょうか？
今回は離職増加を解消する方法や、実際に年間離職率を 1%まで下げた事例について紹介いたします。

現在介護業界での離職理由の大半は「人間関係」「理念や方針への不満」です。
しかし、これらが理由の退職は組織内部の声を聞き、施策を講じることで防ぐことができます。

ではどのように組織内部の声を聞けば良いのでしょうか？

その方法の一つにサーベイの導入が挙げられます。

[サーベイとは]
https://x.gd/7t49u

我々の運営する「ハタラクカルテ」は、手間なく、リーズナブルな価格で首尾一貫したサポートを提供しております。

[ハタラクカルテとは]
https://x.gd/nPahi

介護事業を展開するくらしラボ様は、「ハタラクカルテ」を活用し、年間離職率を1%にまで引き下げることができました。

[事例の詳細]
https://x.gd/MGhZj

少しでもご関心をお持ちいただけましたらご気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせ]
https://x.gd/GhKF1

□■

■　編集後記

男性だけの介護予防教室が意外な人気　「格好つけなくていい」のが理由

介護サービス利用者は約7割が女性です(今は、男女で論じるのは不適切かもしれませんが・・・)。
平均寿命の差もありますが、「社交的でない」などの男性の性格もあり、通所系はどこも女性が多数派です。これは自治体の介護予防教室などでも同様です。
しかし、ある自治体には住民が自主運営する「男性だけの介護予防教室」があります。公民館で月に5回、音楽に合わせ体操しています。
住民は、参加する理由を「男性だけだから」と語ります。男性は女性の前では格好をつけたがるもの。
特に今の高齢者は「男は強く、逞しく」と教育されました。体が思うように動かない姿を女性に見られたくないと感じてしまいます。
男性だけなら、その心配は無用です。
「女性も、男性がいると落ち着かないでしょうから、男性教室の存在は女性にも好評です」。
今はジェンダーレスが強く叫ばれています。

しかし、介護などでは男女を明確に区別した方が好都合なこともあるのではないでしょうか。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟　http://kaiziren.or.jp/
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-1-4 西脇ビル4階
TEL：03－5215－5063　FAX：03－5215－5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください
info@kaiziren.or.jp